

議会報告会報告書

令和5年2月27日

大竹市議会

議長 賀屋 幸治 様

C班

班長 小中 真樹雄

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和5年2月4日（土） 14時から15時30分

2 開催場所

安条集会所

3 参加人数

7人

4 担当班議員名

班 長 小中 真樹雄

副班長 細川 雅子

班 員 日域 究

網谷 芳孝

北地 範久

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

① 上下水道料金の改定について

② 議員定数について

(3) 意見交換

① 人口推移及び高齢化対策について

(4) その他のご意見

(5) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

Q：定数は16人より14人のほうがよいと思うのだが。議会報告会では削減の意見はなかなか出ないのではないか。減らすほうがいいという意見が多い、意外だ。広域で市民にアンケートしたら削減したほうがいいのかとの意見が多いのではないか。

A：大規模なアンケートは難しいものがある。報告会のアンケートは意外だった。どのくらいが適当か定数の公式はない。常任委員会が2つで8人ずつ。いろんな立場から審議するにはあまり減らすのはいかなものかと思う。議会の存在意義を示すことが必要。何人がぴったりかはむずかしい。無投票で18歳になったのに投票できないのは問題。議員が定数削減を決めるのは難しいので、第三者機関などの提案によるべきでは等々、議員がそれぞれ意見を述べた。

Q：残念なことには、議会報告会での市民アンケートの数が35人では少ない。もう少し多くの市民の意見をきくべきではないか

A：これで終わりではないのでご理解を。

Q：統一選への合流はどうか。

A：解散しなければならず、なかなか難しいのではないかと。解散すれば、市長選との合流は可能だ。

7 主な意見交換 「人口推移及び高齢化対策について」

(要望・意見)

- ・交流施設の今後の動向について、地元の穂仁原地区が管理するのが一番いいのだが。高齢化でどうにもならないのではないかと。
- ・少子化の対策は難しい。国や自治体の問題では。買い物の調達が大変。車のない家は大変でボランティアをすることも。バスは便が少ないし、不便だ。岩国市は高齢者のタクシー補助など行きいろいろ便宜を図っている。行きはバスに乗っても買い物後はタクシーを使いたい。何らかの補助がほしい。
- ・井戸の水が出なくなってボーリングで50メートルぐらい掘って対応している。行政支援がないのでどうかしてほしい。人の命にかかわる。
- ・比作の簡易水道は組合を作って管理しているが、高齢化もあり後継者がいなくて困っている。比作の30軒では対応できないのでなんとかしてほしい。同様に後飯谷も困っている。
- ・採石場の残土積み上げは危ないのでなんとかしてほしい。
- ・比作の集会所に入る橋のメンテナンスについて市に要望したが対応してもらえなかった。地区も高齢化しているので対応をお願いしたい。

8 気付きや反省点

- ・上下水道料金の改定については、地域の方から上水も下水も来ていないので関係ないとの意見があった。防鹿地区もあるので、まったく無関係とも思えないが、たまたま防鹿地区の参加者はいなかった。説明に配慮が欠けていたかも。

- ・地区の方々には、早くから集会所の暖房を入れるなど周到に準備していただき、ありがたかった。